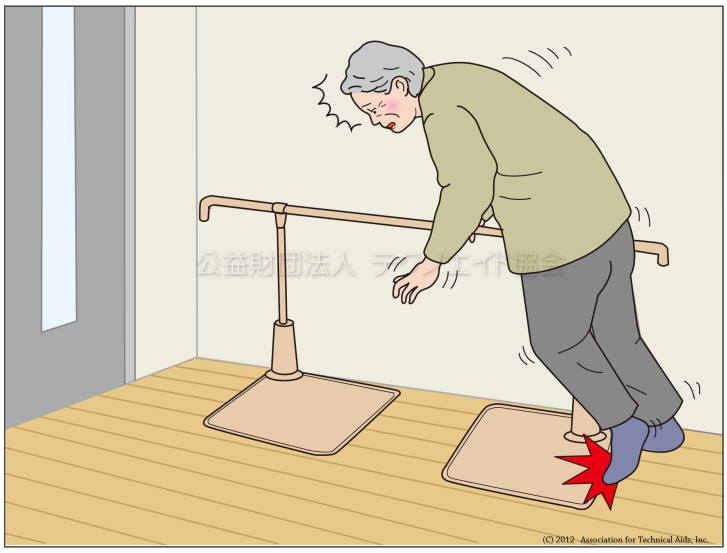
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：224

手すりのベース部分に足をひっかけて、転倒しそうになる

場面の説明

手すりにつかまって歩こうとしたところ、すり足で歩いていたため、本体ベースの段差につまづき転倒しそうになった



利用シーン	移動
主な利用場所	廊下 段差・縁石
介護保険の種目	手すり
分類コード (CCTA95)	123009 (床置き式起き上がり用手すり)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

特にすり足の高齢者の場合、ほんの２～３㎝の段差でも足を引っかけてしまうことがあります。また、白内障など視覚の障害が起因して、段差を確認しづらい場合もあります。いずれにしても、段差を認識しやすい工夫をすることで、安全を高めることが可能です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：すり足で歩いていた
人：段差があることに気づいていなかった
モノ：注意表示がなかった
モノ：視力が衰えた利用者にはベースが見えづらい色だった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：224

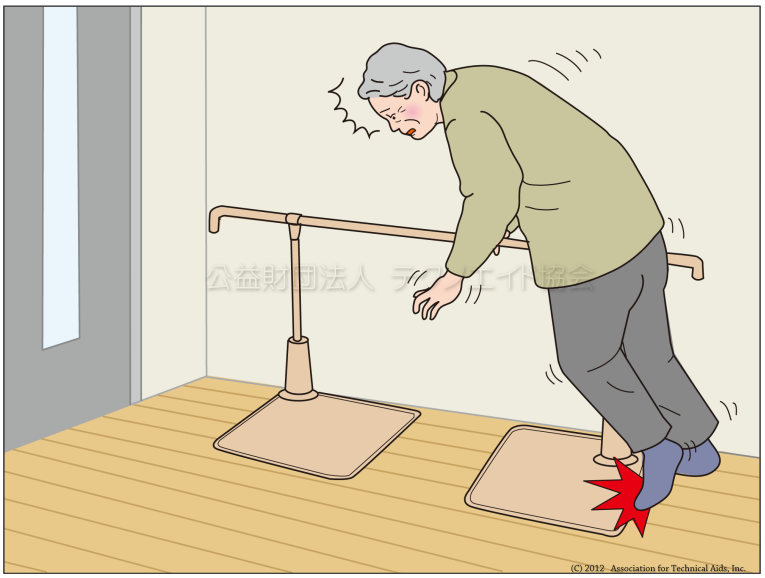
手すりのベース部分に足をひっかけて、転倒しそうになる

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

手すりにつかまって歩こうとしたところ、すり足で歩いていたため、本体ベースの段差につまづき転倒しそうになった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

作成：公益財団法人テクノエイド協会

Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.